



2位でゴールする石島選手



8区間39.74\*を駆け抜けた男子チームと5区間15.95\*を力走した女子チーム

— 熊日郡市対抗女子駅伝・郡市対抗熊日駅伝 —

男子が5年ぶりの2位

2/23 第38回熊日郡市対抗女子駅伝と第47回郡市対抗熊日駅伝が、熊本市東区のえがお健康スタジアムを発着する県民総合運動公園内の周回コースで行われ、19郡市がたすきをつないで、健脚を競いました。

宇城市チームは、女子が12位、男子は4区で小川中出身の水野夢大選手(15)と最終8区で不知火中出身の石島一真選手(25)が区間賞に輝く好走。優勝した熊本市に20秒差の2位と見事な成績を取めました。



接種を受ける大町院長 4月からは高齢者施設で開始予定

— 新型コロナワクチン —

宇城管内で医療従事者向け接種始まる

3/9 宇城管内で医療従事者に対する新型コロナワクチンの接種が始まりました。県から配分された975人分のワクチンは、宇城市民病院に設置された超低温冷凍庫(マイナス75度に対応)で保管。その後、宇城管内の対象施設に配布され、この日は市民病院でも大町秀樹院長をはじめ10人が接種を受けました。



校旗を返納する児童たち

— 不知火小、松合小が再編へ —

120年間ありがとう 不知火小閉校式

3/6 不知火小(1900年4月創立、豊田拓希校長児童数366人)の閉校式が行われました。市は、子どもたちのよりよい教育環境の整備と教育の充実のため、同小と松合小を統合し、多くの子どもたちが触れ合う環境で社会性や協調性をより伸ばすことが大切と判断。今月から新しい「不知火小学校」が誕生します。

市ホームページには、たくさんの写真と詳しい内容を掲載しています。



ま ち の わ だ い  
TOPICS



手が汚れないからこねるのもラク

— 親子で楽しむパン作り —

料理へのはじめの一歩をお手伝い

2/20 小川町のレポートで親子向けの料理教室が開かれ、8組の親子が参加しました。家族で調理をする喜びを知ってもらおうと市が主催。親子で、ビニール袋を使って生地をこねる手間いらずなパン作りに挑戦しました。参加者からは「皆で作って楽しかった」、「上手にできてうれしかった」などの声が寄せられました。



松橋高生たちが接客で大活躍

— 宇城テイクアウトが開催 —

飲食店応援に高校生が一役

1/27~2/26 市役所駐車場で市内の飲食店が弁当やおかずなどを販売。宇城テイクアウト実行委員会(江口毅会長)が企画し、延べ2,000人以上が利用しました。最終3日間は松橋高の生徒らも参加。ボランティアに訪れた高本凜華さん(新3年生)は「テイクアウトは飲食店も各家庭もお互いに助かると思う」と話していました。



新型コロナウイルス感染症を考慮し、初のオンライン開催

— 小川工高でオンライン合同企業説明会 —

地元での就職を高校生にアピール

3/5 市は、小川工高でオンライン形式の合同企業説明会を開催しました。これは、就職を検討する生徒に地元企業の魅力を知ってもらおうと毎年行っているもの。市内外の10企業がスライドや動画などの資料を使って、企業紹介を行いました。生徒からは「内容がちょうどよかった」「理解できた」などの意見が聞かれました。



守田市長(左)と前田さん(右)

— 前田富士子さんに統計功労者表彰 —

政策判断の指標となる調査に尽力

3/3 労働力調査への貢献で総務大臣賞を受賞した松橋町の前田富士子さん(73)が市役所を訪れ、守田憲史市長に受賞を報告しました。市長は「調査員としてのたゆまぬ努力に感謝します」と謝辞。22年以上調査員を続ける前田さんは「コロナ禍で苦勞もありましたが、地域の方々が協力的で助かります」と感謝を述べました。